

窪木)と9月10日に連携協定を結ぶことを明らかにした。3者は協力して市の救援物資、AMDAの医療スタッフ、県立大の学生ボランティアを被災地に送る。

災害発生から3日以内の現地入りを目指す。物資や人の移動に必要な車両や運転手は同市が用意する。

市は東日本大震災でAMDAと協力し、被災地支援に尽力。県立大の参加による支援の幅の拡大を期待する。

片岡聡一市長は記者会見で「取り組みを機に、全国的に支え合う機運が高まってほしい」と述べた。2014年度予算で、被災地支援の経費を確保する意向も示した。

(森元俊一朗)

被災地支援へ

3者協力協定

来月、総社市と

AMDA、県立大

総社市は16日、地震、

豪雨災害などの被災地

支援で、国際医療ボラ

ンティアAMDA(本

部・岡山市北区伊福

町)、県立大(総社市